IRIS OHYAMA

ドーム型AIサーマルカメラ
取扱マニュアル

(付属品)

・製品本体
・取扱説明書
・CD-Rディスク
※Guarding Expert　（カメラビューワーソフト）が保存されています。基本は使用致しません。

(別売品）

・三脚用取付プレート（取り付け用ネジ付き）
・カメラ用三脚
・PoE対応スイッチングハブ

(関連ソフトダウンロード)
以下からダウンロードをお願い致します。
https://www.irisohyama.co.jp/b2b/iot/manual/

▼無料配信ソフト▼
・SADPツール（カメラIPアドレス設定ソフト）
・iVMS-4200（カメラビューワーソフト）
・Multi Lingual Package（iVMS-4200用日本語変換ソフト）

2022.03.15更新

目次

基本設定の流れ 03
1． 機器接続・起動 04
2． SADPツールでカメラのIPアドレス設定を変更 04
3． ブラウザ(Chrome,Edge等)でカメラへ接続 07
4． 基本機能・操作方法 08
5． 環境設定
5.1 ライブ画像のパラメーター変更 10
5.2 時間設定 10
5.3 ライブ画像のパラメーター設定 11
5.4 ディスプレイの逆光設定 11
5.5 サーモグラフィ画像の配色設定 12
5.6 画面表示項目の設定 12
5.7 VCAルール表示の設定 13
5.8 点滅アラーム光の出力 13
5.9 音声アラームの設定 14
5.10測定距離の設定 14
5.11測定距離・アラーム温度の設定 15
5.12点滅・音声アラームの設定 16
6． 三脚へのカメラ設置方法 17
7． ドーム型AIサーマルカメラの設置位置 18
8． 故障かな？と感じたらご確認ください 20
9． 更新情報のアップデート方法 24

ドーム型AIサーマルカメラ 基本設定の流れ

カメラ、PoEハブ、パソコンの接続と起動（P.4）

↓

SADPツールでカメラのIPアドレス設定（P.4）

※以下のURLよりダウンロード、インストールをお願いします
https://www.irisohyama.co.jp/b2b/iot/manual/

↓

ブラウザ(Chrome,Edge等)でのカメラへの接続（P.7）

↓

ブラウザ(Chrome,Edge等)でカメラの操作・環境設定（P.8～）

↓

設定完了、ご使用ください

起動後、60分間程は温度が高くなる傾向がありますが、60分程経過すると検知が落ち着きます。カメラへの電源供給は常にONにし続けてご使用することを推奨します。

以下のソフトもご使用が可能です

iVMS-4200：カメラビューワーソフト

●映像の録画方法やアラート時の画像保存設定などの機能をご利用いただけます。
●iVMS-4200の設定は、上記の基本設定終了後に行うことを推奨いたします。

▼以下URLよりダウンロードし、インストールください▼

https://www.irisohyama.co.jp/b2b/iot/manual/

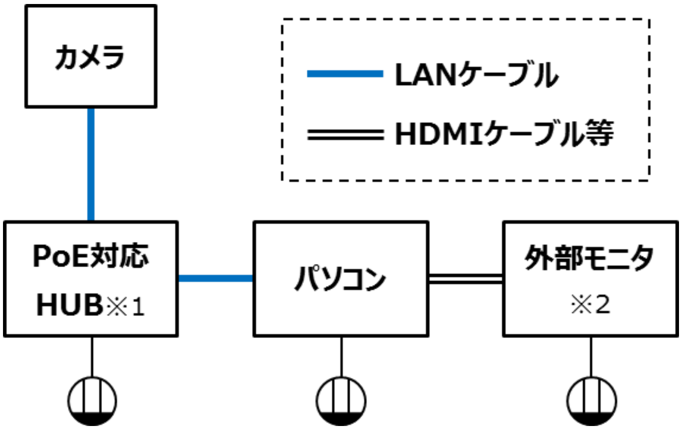
①**iVMS-4200 と Multi Lingual Package**（iVMS-4200用日本語変換ソフト）**を一緒にインストールください。**

②**設定手順、操作方法の説明資料も配信しております**

●要約版：iVMS-4200　基本操作説明書／設定手順書
●詳細版：iVMS-4200　取扱説明書

1． 機器接続・起動

1.1 カメラと周辺機器を以下のように接続してください



推奨パソコン スペック

CPU Intel CORE i5以上
メモリ容量 8GB以上
SSD容量 256GB以上

※1 PoE対応ハブをご用意できない場合
ACアダプタ（12V・1A以上）で
カメラに直接電源供給可能です。
注：ACアダプタは付属していません。

※2 モニタは必要に応じてご使用ください。

1.2 パソコンを起動（通常の起動方法で結構です）

注：この際にパソコンが他のネットワークやインターネット、WiFi環境に接続されていないことを確認してください。パソコンはカメラとのみ接続された状態としてください。

2. SADPツールでカメラのIPアドレスを設定変更

2.1 SADPツールを以下のURLからダウンロードしてください。
https://www.irisohyama.co.jp/b2b/iot/manual/

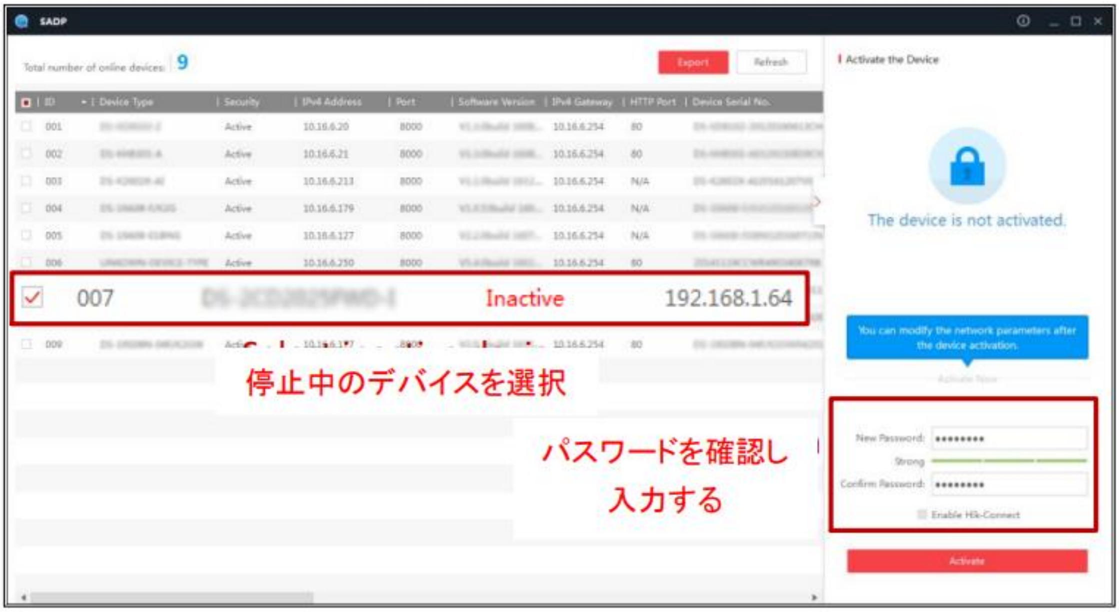
2.2 ダウンロードしたファイルをインストールしてください。
ライセンス規約の同意にチェックを入れ、言語はEnglishを選択します。インストールフォルダに問題なければInstallをクリックし、完了したらCompletedをクリックし、インストールを完了させます。

2.3 1.の構成例のようにカメラとPCがネットワーク接続されていれば、カメラの情報がリストアップされます。

☐	ID	Device Type	Status	IPv4 Address	Port
☐	001	STORAGE-SE...	Inactive	1.10.53.9	8000

<リストアップされない場合>
・LANケーブル接続をご確認ください。PoE対応HUBをご使用の場合、LANケーブル接続して電源供給を開始すると、カメラが1度点灯します。
※カメラに電源ONを確認するランプ等は搭載しておりません。

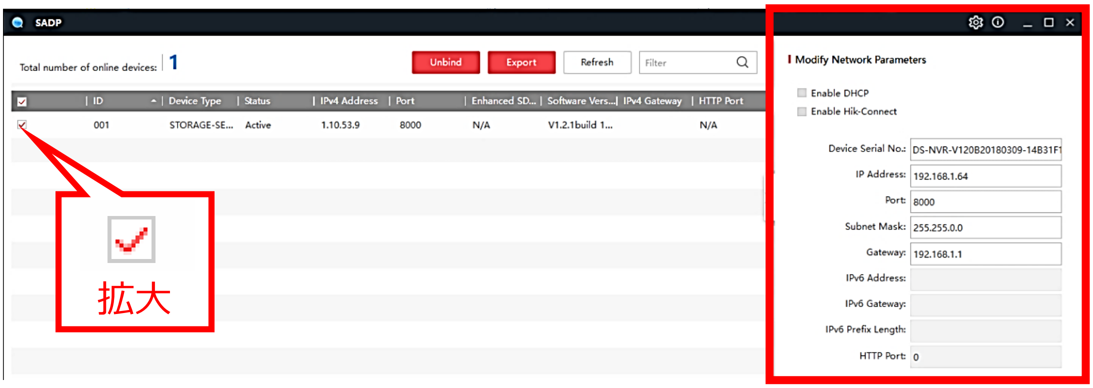
2.4 リストアップされた行の左端のチェックボックスに☑チェックを入れると画面右側にパスワード設定画面が表示されます。任意のパスワードを入力し、Activeをクリックすると、カメラが使用可能な状態になります。



2.5 以下の手順で**パソコン側**のネットワークパラメータを確認します。

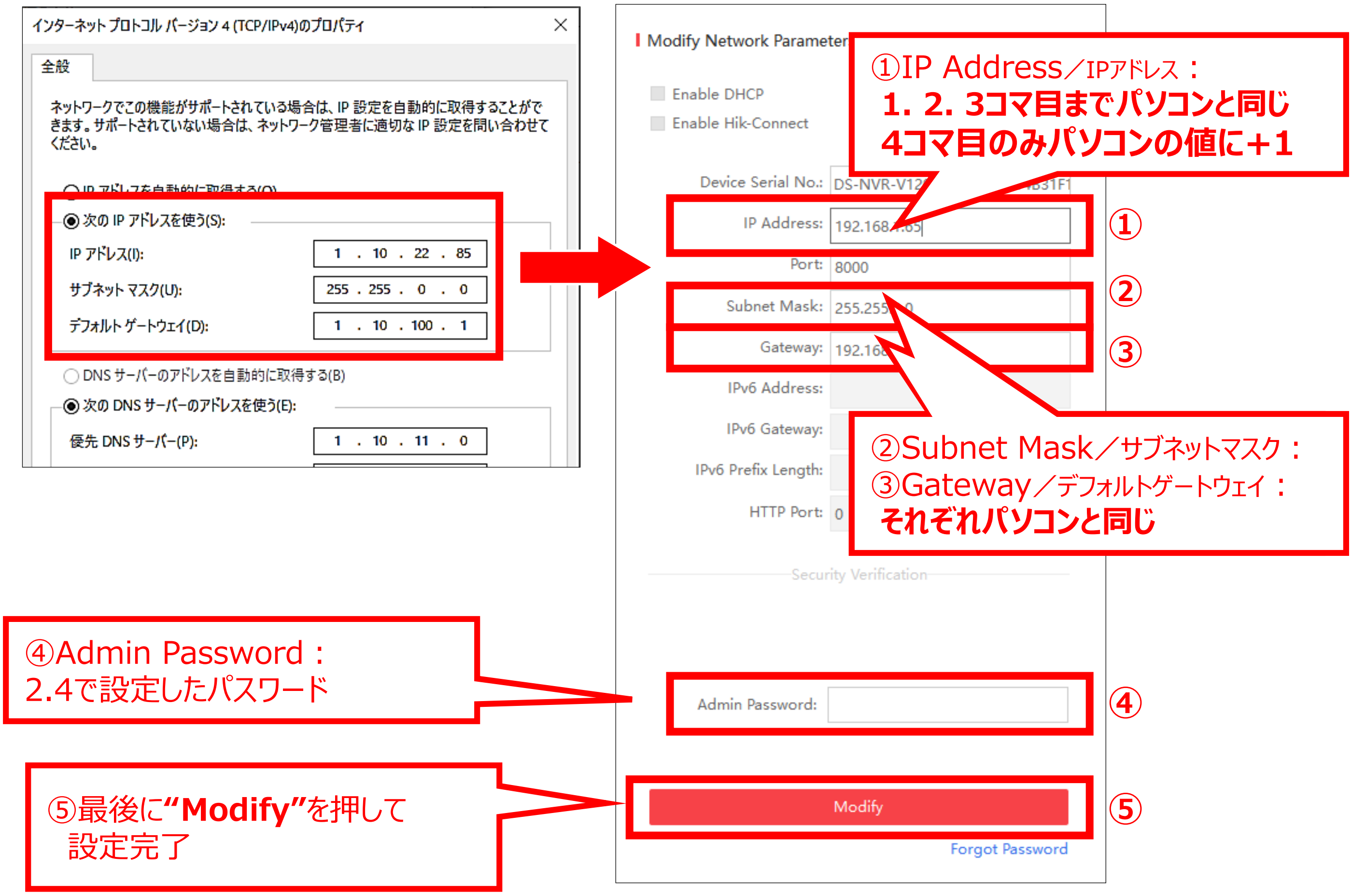
スタートメニュー ⇒ 設定（またはコントロールパネル）⇒ ネットワークとインターネット
⇒ ネットワークと共有センター ⇒ イーサネット ⇒ プロパティ
⇒ インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）をダブルクリック
「IPアドレスを自動的に取得する」になっている場合、**2.7(3)**へ、社内ネットワークに接続する場合は**2.7(2)**へ、その他の場合は**2.7(1)**をご確認ください。

2.6 リストアップされた行の左端のチェックボックスに☑チェックを入れると画面右側にカメラのネットワークパラメータが表示されます。
このパラメータをパソコン側のパラメータに合わせて設定変更します。
→変更方法は2.7



2.7（1） パソコンのネットワークパラメータを確認し、以下の手順で
SADPツール側（＝カメラ側）のパラメータを変更してください。

<パソコン側> <SADPツール側（＝カメラ側）>

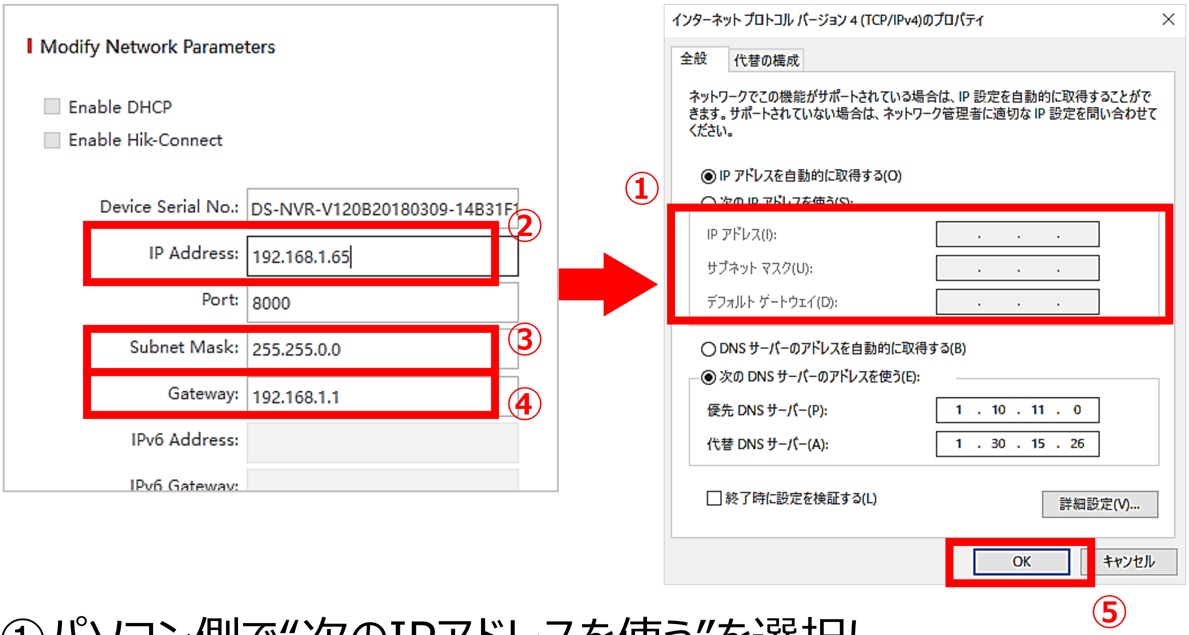


2.7（2） 社内ネットワーク内にカメラを接続する場合
御社内のシステム管理者と打合せて、
カメラ用のIPアドレスをご用意ください。

※基本的な設定手順は、2.6（1） と同じです。
但し、SADPで入力するIPアドレスはご用意された**カメラ用のIPアドレス**を入力してください。

2.7（3） パソコン側が、**“IPアドレスを自動的に取得する“**に設定されている場合
以下の手順でパソコン側のパラメータを変更してください。

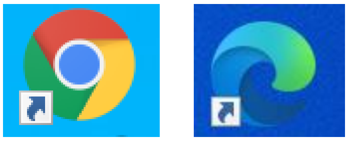
＜SADPツール側（＝カメラ側）＞　　＜パソコン側＞



①パソコン側で“次のIPアドレスを使う”を選択し、
　以下のパラメータを入力。
②IPアドレス：**192.168.1.65** を入力。
③サブネットマスク：**255.255.255.0** を入力。
④デフォルトゲートウェイ：**192.168.1.1** を入力。
⑤最後に、OKを押す。
※PCをインターネットに接続せず、スタンドアロンで使用する場合を想定しております。

3. ブラウザ(Chrome,Edge等)でカメラへ接続

3.1 ブラウザを起動(Chrome,Edge等)

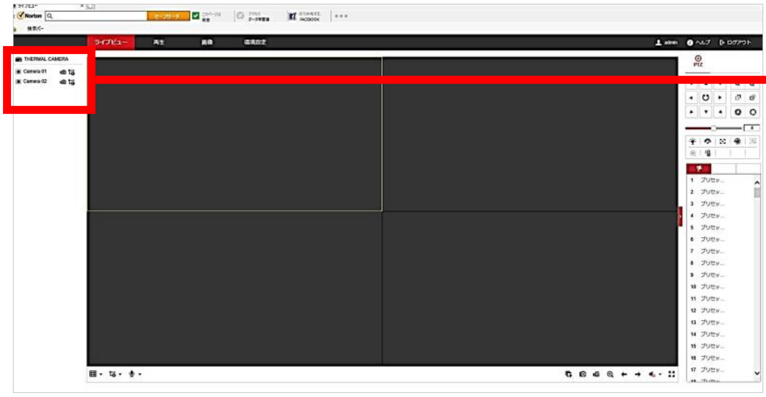


3.2 アドレス枠に2.7で設定したカメラのIPアドレスを入力(192.168.1.64の場合)→

3.3 起動画面にID、パスワードを入力
ID：　**admin**
パスワード：2.4で設定したパスワード

4. 基本機能・操作方法（1）

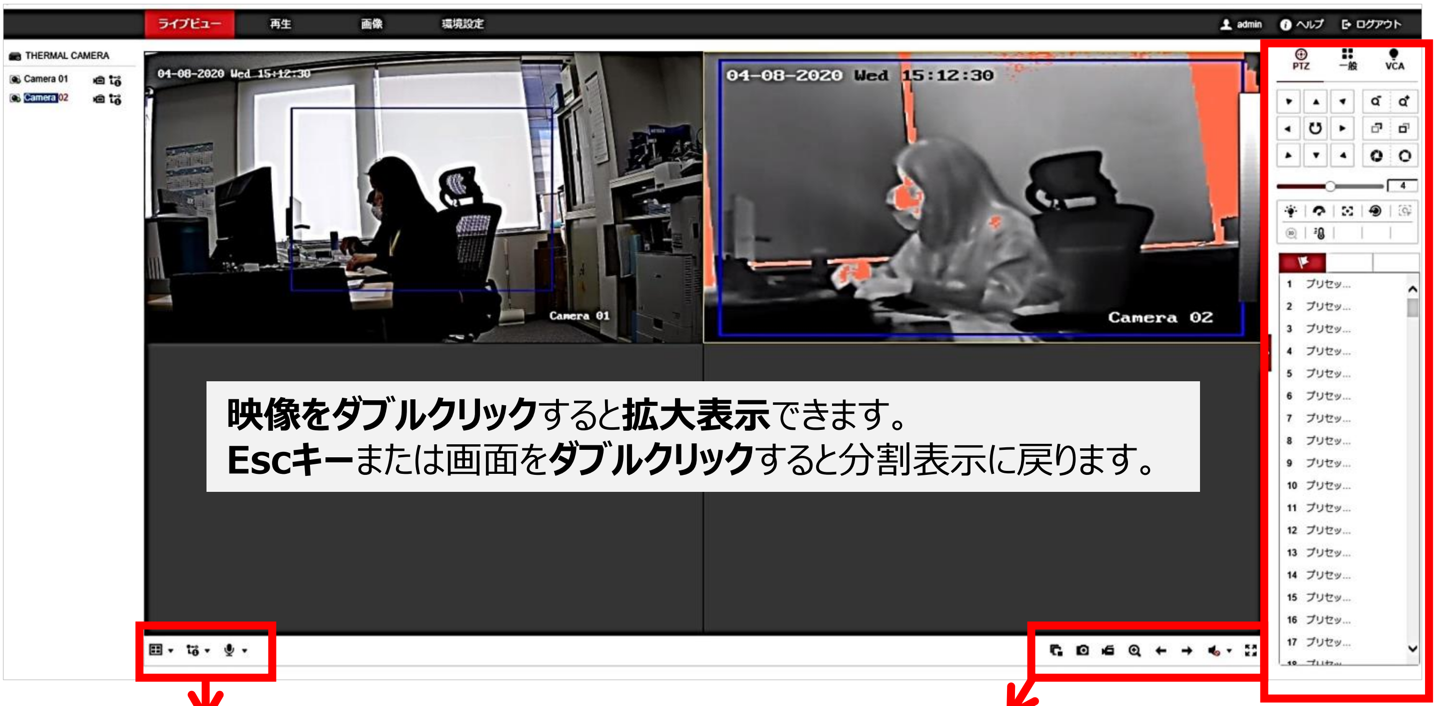
4.1 ログインに成功すると、まず下のライブビュー画面が表示されます



＜拡大＞

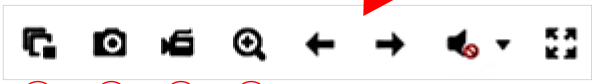
Camera01をクリックすると
通常カメラ映像が表示されます。
Camera02をクリックすると
赤外線カメラ映像が表示されます。
（映像が表示されるまで時間がかかる場合があります。）

4.2 ライブビュー画面の基本操作方法



映像をダブルクリックすると**拡大表示**できます。
Escキーまたは画面を**ダブルクリック**すると分割表示に戻ります。

①



② ③ ④ ⑤

↑
P.8参照

①画面分割選択：画面の分割数を、1・2×2・3×3・4×4 から選択できます。

②表示の開始/中止：ライブビュー画面表示ON/OFFを切り替えられます。

③キャプチャー：選択した画面の映像を、
キャプチャーして画像を自動保存※します。

④記録開始：画面の**映像を録画**できます。
録画停止を押すと自動保存※します。

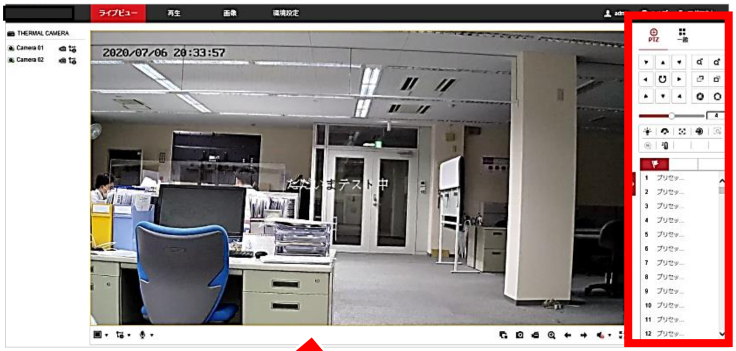
⑤デジタルズーム：画面内で指定した範囲内を
拡大表示できます。

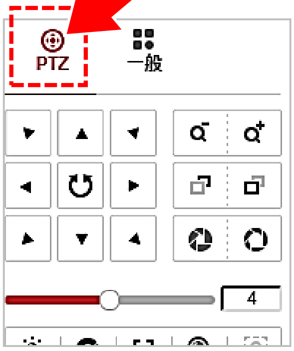
※保存先通知メッセージを画面右下に表示します⇒

録画は .mp4形式で保存されます。
VLC media player などの再生ソフトをご使用ください。

4．基本機能・操作方法（2）

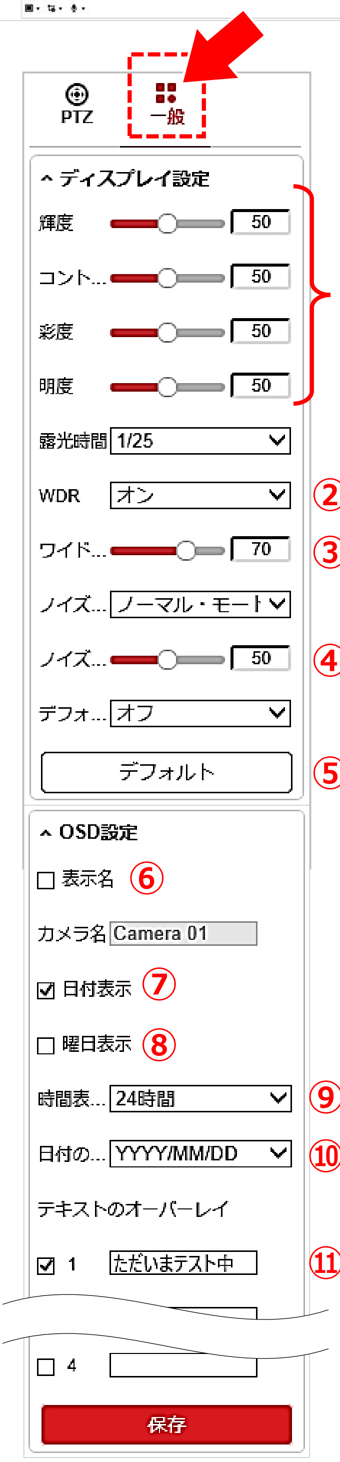
4.3 ライブビュー画面メニューの機能





注）
PTZ選択時のメニューは、当カメラでは使用できません。

注）
カメラの向き等は、手動でご調整ください。



①映像の 輝度、コントラスト、彩度、明度
それぞれを0～100で設定できます。

②WDR：逆光補正の オン／オフ を切替えられます。

③ワイド：カメラの露出を調整できます。

④ノイズ：映像のノイズを調整できます。

⑤デフォルト：各設定項目を初期値に戻します。

⑥表示名：☑を入れると映像にカメラ名を表示します。

⑦日付表示：☑を入れると映像に日付を表示します。

⑧曜日表示：☑を入れると映像に曜日を表示します。

⑨時間表示：映像に表示する時刻表示の
12時間制、24時間制を切替えられます。

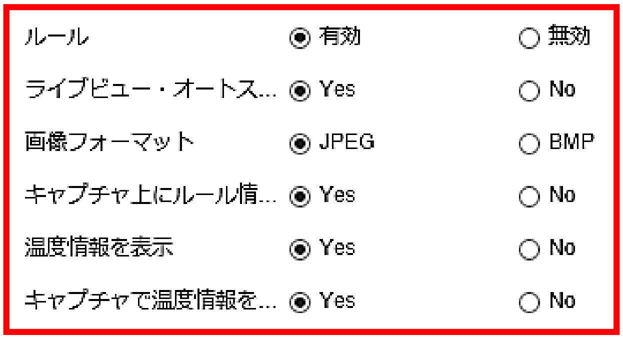
⑩日付の…：日付の表示形式を切り替えられます。

⑪テキストのオーバーレイ：
☑を入れると映像に入力したテキストを表示します。

5. 環境設定（1）

5.1 ライブ画像のパラメーターの設定

◇画面表示手順：環境設定 → ローカル



上記の通り、各項目を選択

設定後は必ず「保存」を押して終了

録画データ等の保存先を設定できます。

注）パソコン内に保存するため、データ容量にご注意ください。保存データの自動上書き保存には、別途NVR（ネットワークビデオレコーダー）の接続が必要です。

5.2 時間設定

◇画面表示手順：環境設定 → システム設定 → 時間設定

"東京、大阪、札幌、ソウル"を選択

設定後は必ず「保存」を押して終了

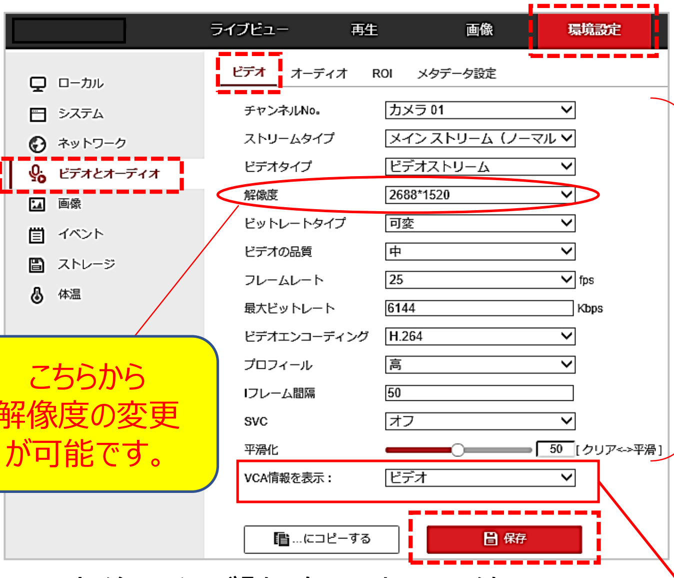
映像の表示時間にズレを感じた場合の調整手順

①手動時間調整を選択
②チェックボックスに☑チェックを入れる（手動でパソコンの表示時刻と同期させられます。）
③NTPを選択し、自動調整機能を有効にする
④「保存」を押す

5．環境設定（2）

5.3 ライブ画像のパラメーターの設定

◇画面表示手順：環境設定 → ビデオとオーディオ → ビデオ



こちらから
解像度の変更
が可能です。

設定後は必ず「保存」を押して終了

必要に応じて各項目の設定を
変更できます。

チャンネルNo.の選択で
カメラ01：通常映像
カメラ02：サーモグラフィ映像
を切替えられます。

【カメラ01の推奨設定】
解像度：1920*1080
フレームレート：15fps
ビットレート：1024Kbps
ビデオエンコーディング：H.265

温度表示を有効にするには、
VCA情報を表示でビデオを選択する
必要があります。

5.4 ディスプレイの逆光設定

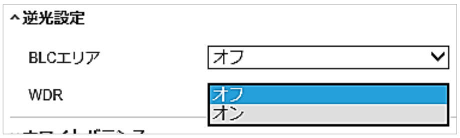
◇画面表示手順：環境設定 → 画像 → ディスプレイ設定

映像の反転
(上下反転、
上下左右反転)
が設定可能です。

ディスプレイ設定を初期状態に戻します。

チャンネルNo.選択：
カメラ01
※カメラ02に逆光設定は
　できません。

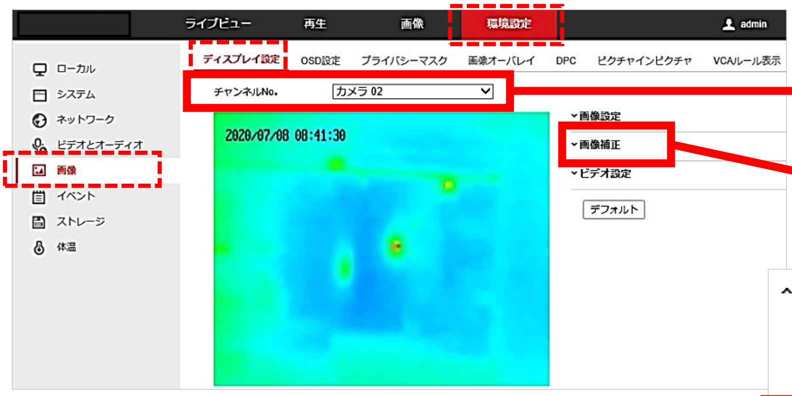
逆光設定を選択し、
WDRをオンに変更



※変更後の設定は自動保存され、
映像に逆光補正がかかります。

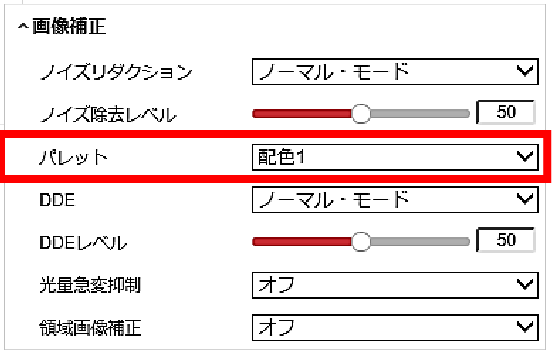
5.5 サーモグラフィ画像の配色設定

◇画面表示手順：環境設定 → 画像 → ディスプレイ設定



チャンネルNo.選択：
カメラ02

画像補正を選択し、
パレットを配色1に変更

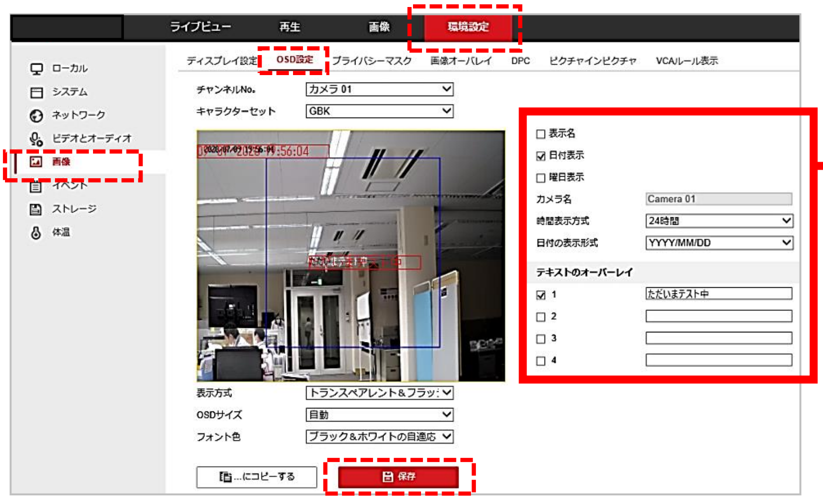


パレットの「配色1」は弊社推奨の設定です。お好みに合わせて他の配色もお選びいただけます。

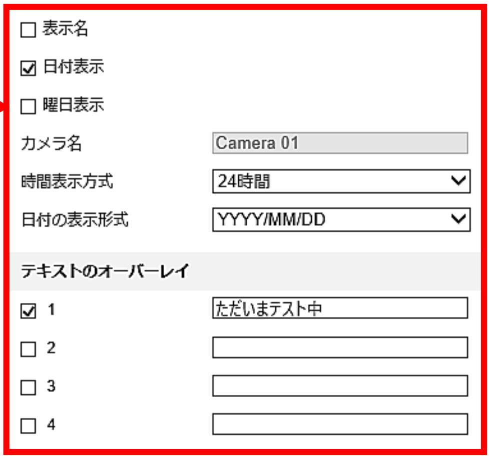
※変更後の設定は自動保存され、
映像の配色が切り替わります。

5.6 画面表示項目の設定

◇画面表示手順：環境設定 → 画像 → OSD設定



<拡大>

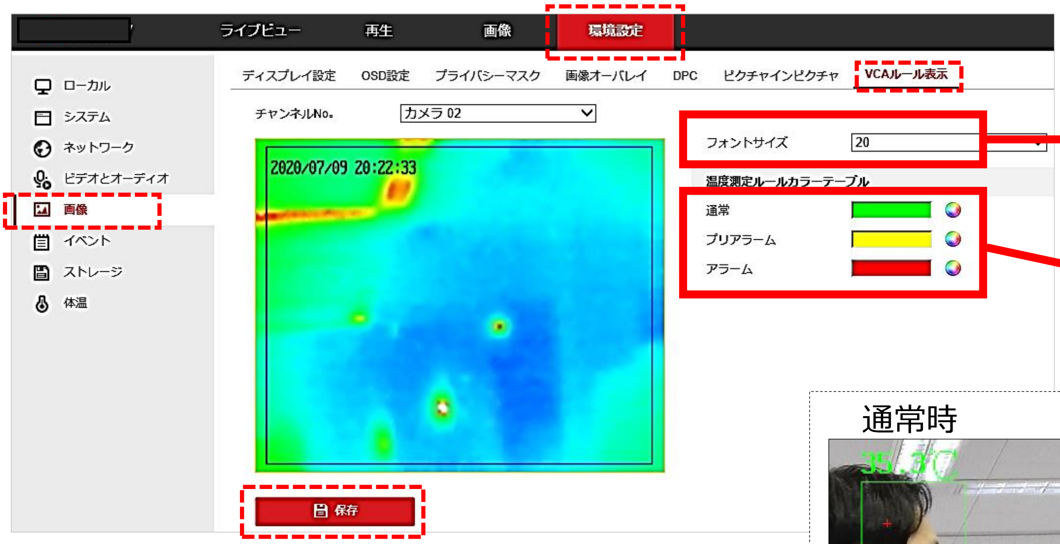


上記項目を任意で設定可能

設定後は必ず「保存」を押して終了
※**カメラ01**、**カメラ02** 双方を設定してください

5.7 VCAルール表示の設定

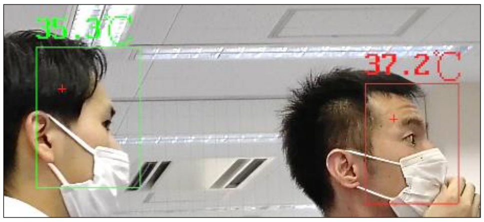
◇画面表示手順：環境設定 → 画像 → VCAルール表示



温度表示の
文字の大きさ
を変更可能
最小8～最大24

温度表示の
文字の色
を変更可能

通常時　　アラーム時



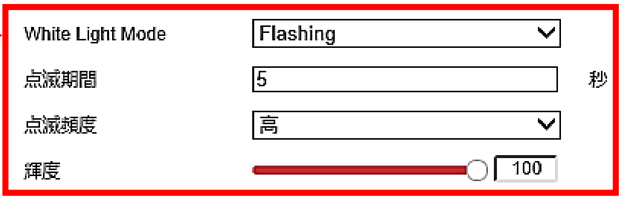
設定後は必ず「保存」を押して終了

5.8 点滅アラーム光出力の設定

◇画面表示手順：環境設定 → 画像 → 点滅アラーム光出力

設定後は必ず
「保存」を押して終了

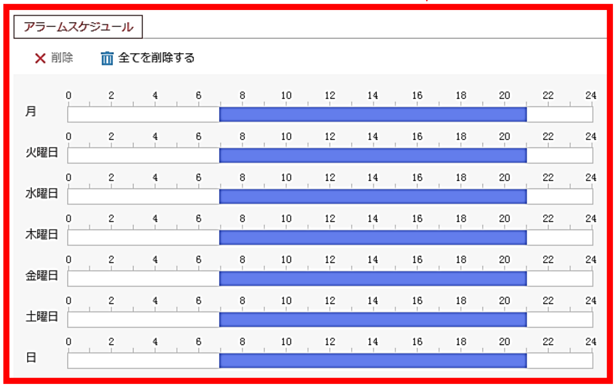
＜拡大＞



上記項目を任意で設定可能

※上記設定の場合、
アラーム設定温度以上を検知時に
カメラが点滅発光（Flashing）を
5秒間繰り返します。

＜拡大＞



設定した機能の発動時間帯を設定。
設定範囲外の時間帯は、カメラ起動中でも、
設定した機能は発動しません。

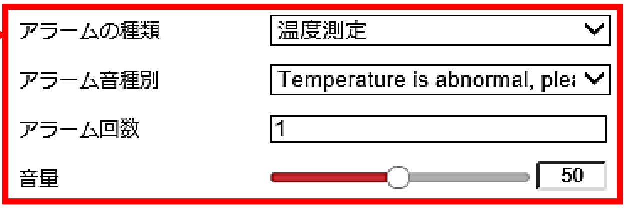
※カメラ起動時は常に発動させたい場合は、
下図のように24時間設定にしてください。

5.9 音声アラームの設定

◇画面表示手順：環境設定 → イベント → 音声アラーム出力

設定後は必ず「保存」を押して終了

<拡大>



上記項目を任意で設定可能

※上記設定の場合、
アラーム設定温度以上を検知時に
カメラから1回、音声警告（英語）
を発します。

<よくあるご質問>

●音声アラームのボリューム調整は、上記の【音量】ゲージで調整してください。

●音声アラームを発するのは、カメラのみです。

ビューワーソフト iVMS-4200 では、パソコンからアラーム音（音声アラームではありません）の設定・変更が可能です。パソコン側の音量ボリュームは、パソコンの設定によります。

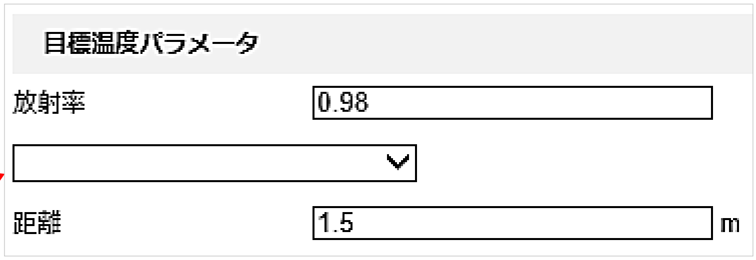
●音声アラートを【日本語】に変更する手順は、P.23 をご覧ください。

5.10 測定距離の設定

◇画面表示手順：環境設定 → 体温 → 基本設定

設定後は必ず
「保存」を押して終了

<拡大>



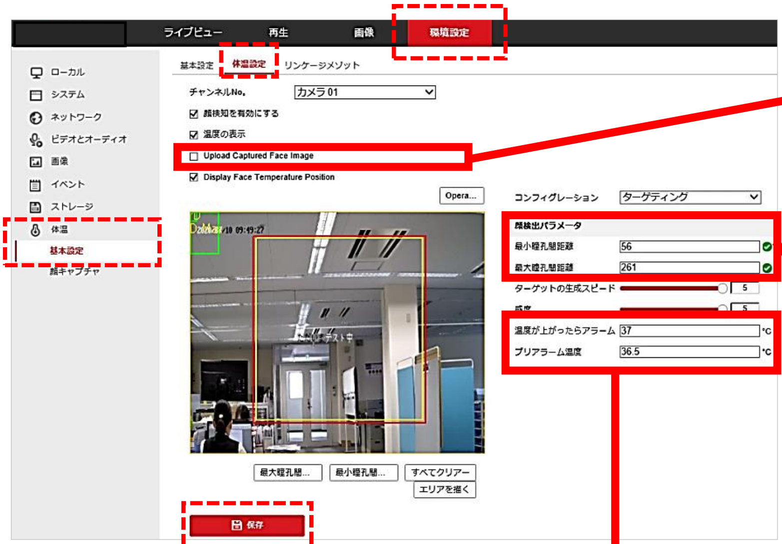
上記の設定を基本設定としてください。

●放射率：**0.98**で固定
※人体の放射率標準値

●距離：**1.5m**（1.0～1.5が推奨値）
※測定距離の半分の数値で設定してください

5.11 測定距離・アラーム温度の設定

◇画面表示手順：環境設定 → 体温 → 体温設定

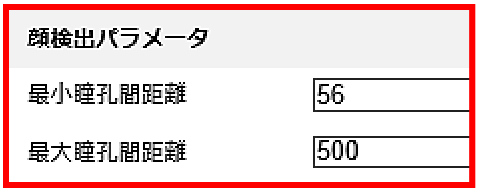


＜拡大＞

上記項目のみチェックが外れていることを確認

※顔検知を有効にするにチェックが入っていないと、顔以外も温度測定します

＜拡大＞



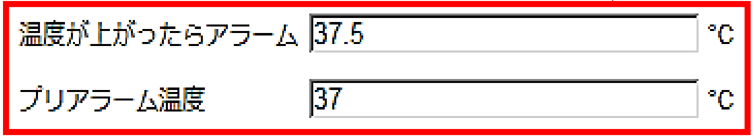
上記項目の数値に合わせて左の映像の左上部に緑色の四角形を描きます。

映像に映る人の顔の大きさがこの緑枠の範囲内であれば温度測定対象となります。

注）映像に映る人の顔が
緑の四角より小さい（遠すぎる）
緑の四角より大きい（近すぎる）
上記の場合には、測定対象になりませんので、温度表示されません。

※詳しくは、P.19をご覧ください

設定後は必ず「保存」を押して終了



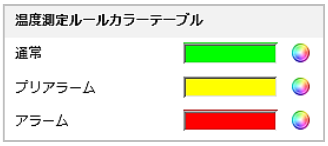
＜温度が上がったらアラーム＞

音声や発光のアラームを発動させる温度

＜プリアラーム温度＞

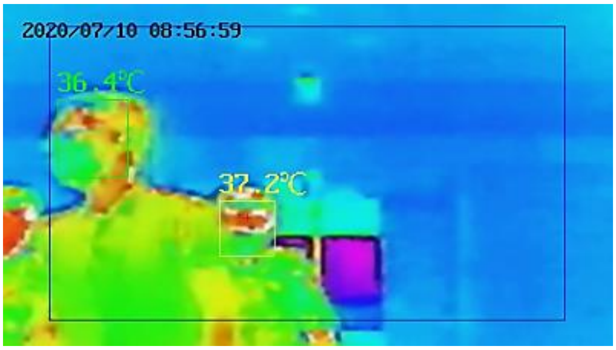
映像上で通常温度と区別して表示

5.7 で右のカラーテーブルを設定されている場合、下のように表示されます。



設定時には、温度を低めに設定して、音声アラート等の動作をご確認ください

補足：映像内の青い四角形内が測定範囲です。
左端の方は顔が青い四角の外にあるため、測定されません。



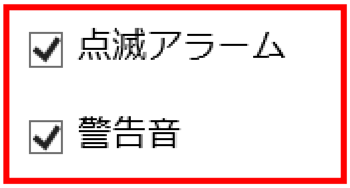
補足：青い枠内の範囲は、通常映像、赤外線映像共に同じです。赤外線側は拡大表示されます。
青い四角形のサイズは変更できません。

5．環境設定（7）

5.12 点滅･音声アラームの設定

◇画面表示手順：環境設定 → 体温 → リンゲージメソッド → リンゲージメソッド

＜拡大＞



上記項目にチェックを入れて、
点滅アラーム、音声アラームの設定を
有効化してください。

設定後は必ず「保存」を押して終了

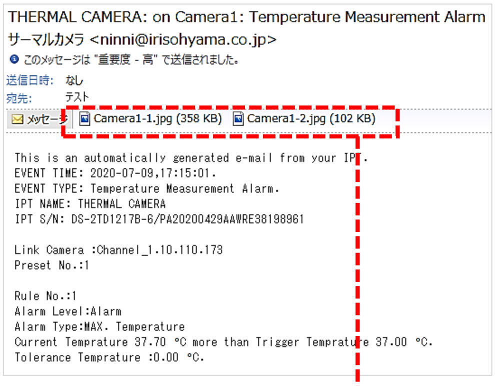
＜よくあるご質問＞

アラート発動時に、その瞬間の映像をキャプチャーした画像（静止画）を
指定のメールアドレスへ送信することも可能です。
その際には必ず、ご使用いただく施設内のシステムご担当者様にご相談ください。

注）上記の ☑ Eメールの送付 にチェックを入れただけではご使用いただけません。

下の画面内の各項目の設定が必要です。
◇画面表示手順：環境設定 → ネットワーク → 詳細設定 → E-mail

受信メール見本
※メールは英文仕様のみです。


THERMAL CAMERA: on Camera1: Temperature Measurement Alarm
サーマルカメラ <ninni@irisohyama.co.jp>
このメッセージは "重要度 - 高" で送信されました。
送信日時: なし
宛先: テスト
メッセージ Camera1-1.jpg (358 KB) Camera1-2.jpg (102 KB)

This is an automatically generated e-mail from your IPT.
EVENT TIME: 2020-07-09,17:15:01.
EVENT TYPE: Temperature Measurement Alarm.
IPT NAME: THERMAL CAMERA
IPT S/N: DS-2TD1217B-6/PA20200429AAWRE38198961

Link Camera :Channel_1.10.110.173
Preset No.:1

Rule No.:1
Alarm Level:Alarm
Alarm Type:MAX. Temperature
Current Temprature 37.70 °C more than Trigger Temprature 37.00 °C.
Tolerance Temprature :0.00 °C.

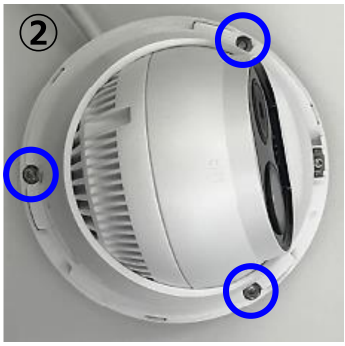
※設定温度以上の方が映った画像が
添付されます。

6．三脚へのカメラ設置方法

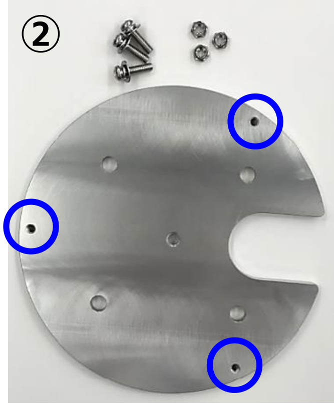
ドーム型AIサーマルカメラを三脚に設置してご使用いただける
専用取付プレート（別売）をご用意しております。
専用取付プレートを用いた、三脚への取付け方法をご案内いたします。

①カメラ本体の外側リングを
　半時計周りに回して外す。

②カメラ側の穴とプレートの穴位置を
　合わせる



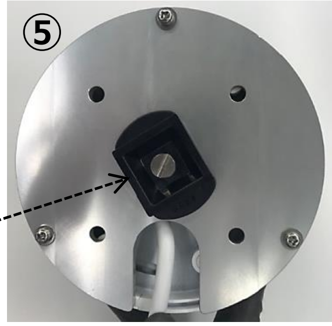
リングを外したカメラを
真上から見た画像
○の箇所が穴位置



プレート側
○の穴を使用
中央穴に三脚を固定

③カメラ側の凹みにボルトを入れ
④底面側からネジ締めして固定

⑤三脚から
　カメラネジを外して
　プレートに設置



カメラネジ

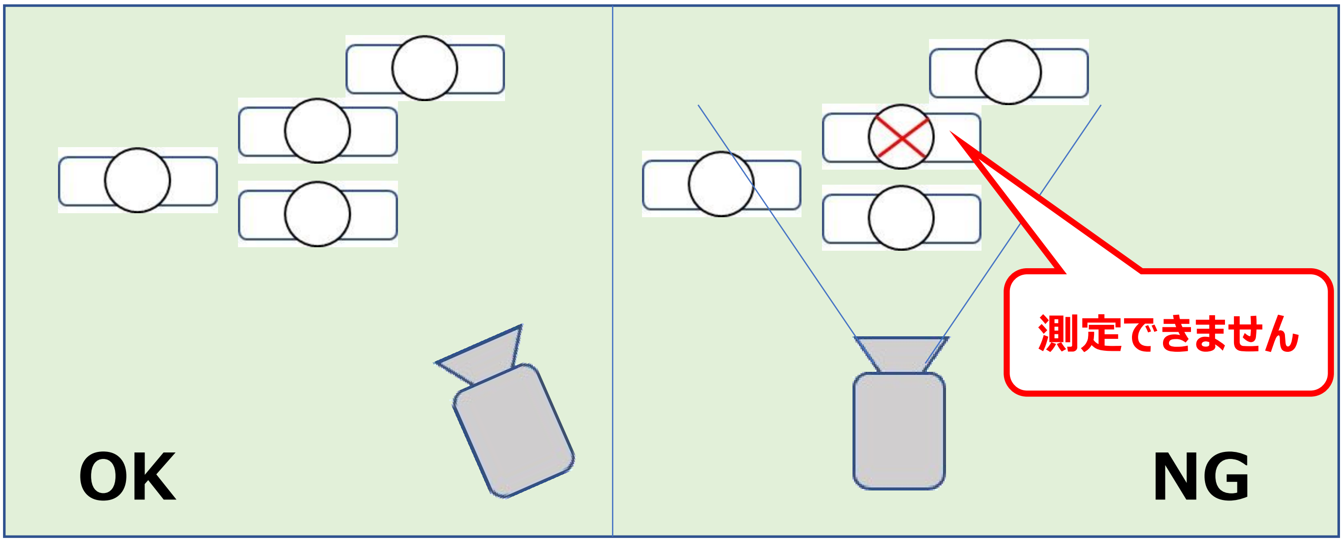
⑥カメラネジごと
　三脚に設置して
　取付け完了

7．ドーム型AIサーマルカメラの設置位置（1）

①カメラ配置

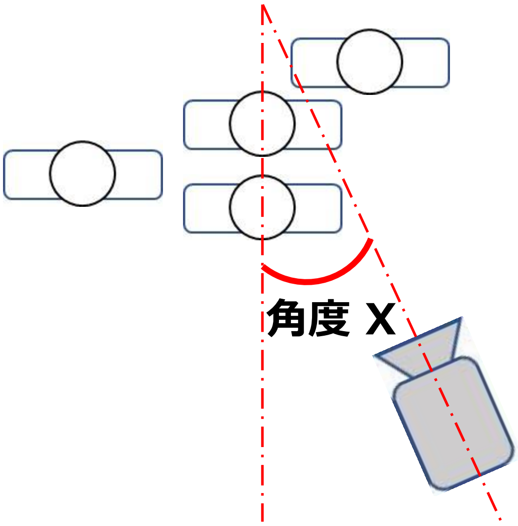
測定する場所の正面から若干角度をつけて設置してください。

※真正面の場合、後方の人が前の人に隠れて測定できない可能性があります。



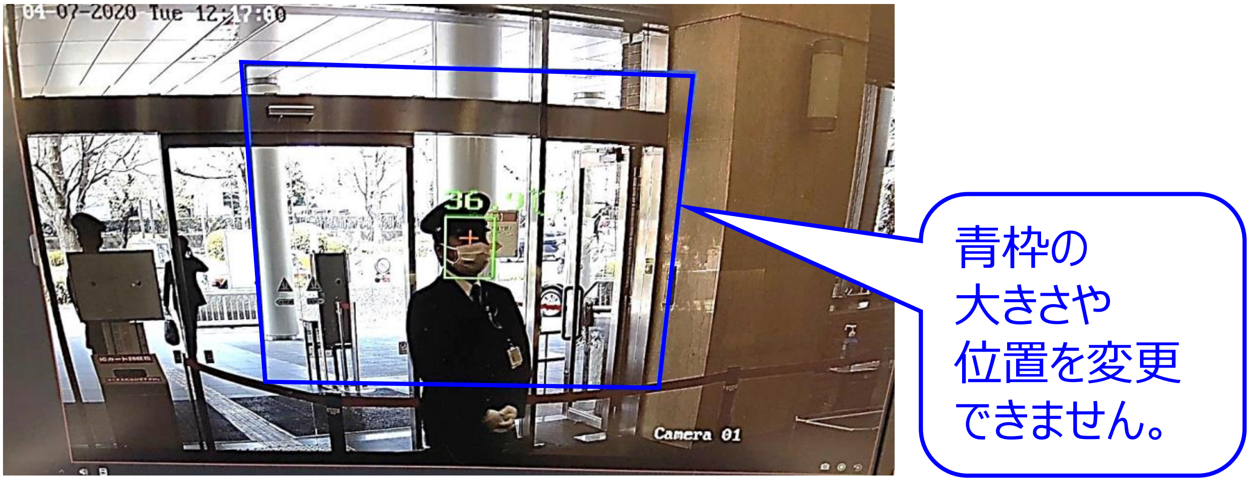
②カメラ角度

下図の**角度X**が、**30度以内**になるよう設置してください。

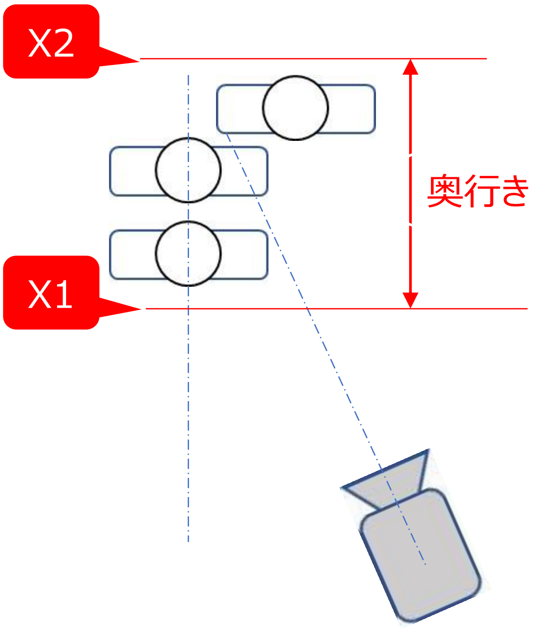


7．ドーム型AIサーマルカメラの設置位置（2）

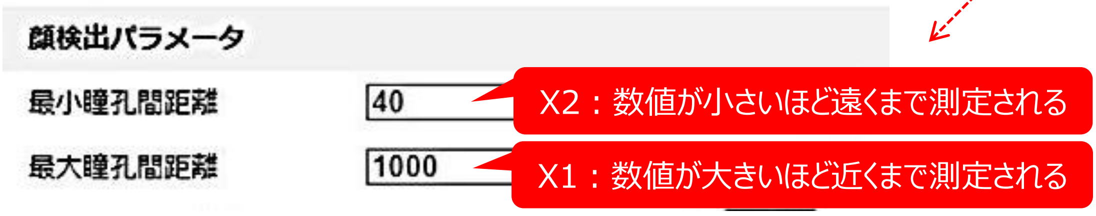
③映像の青枠内が測定可能範囲です。
　測定したい場所が青枠内に収まるように設置してください。



④奥行範囲の設定



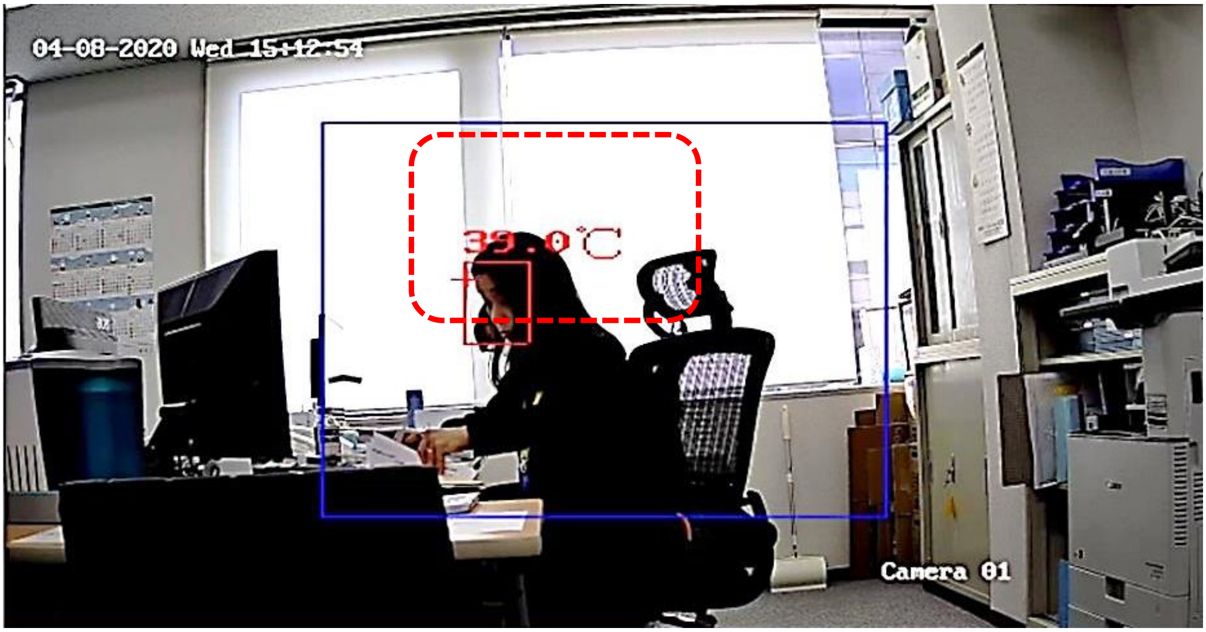
設定手順は、P.14をご確認ください



8．故障かな？と感じたらご確認ください（1）

問題が発生した場合は以下の内容をご確認ください。

①測定された温度が異常に高い気がする



＜考えられる原因＞

1）サーマルカメラの電源入れてから60分以内の場合

2）誤作動が発生している場合

＜対処法＞

1）カメラの電源を入れてから、60分以上経ってから再確認。

2）カメラのLANケーブルを外し、10秒以上経ってから取り付ける。
外した時間が長いとカメラが安定するまで時間がかかるため、
ご注意願います。

＜補足＞

※異常時にアラーム音をONにしていると、アラーム音が鳴り続ける
ため、パソコンの音量をOFF（ミュート）にするか、
iVMS-4200（ビューワーソフト）の設定でOFFにしてください。

8． 故障かな？と感じたらご確認ください（2）

②誤作動が発生した場合

＜対処法＞

●サーマルのLANケーブルを外し、10秒以上経ってから取り付ける。

●PCを再起動する。

③画面が固まった場合

＜対処法＞

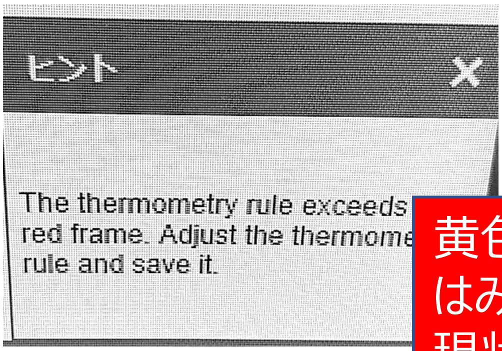
●画面が固まったらPCの再起動を行う。

④現場の動作とPC画面の動作にタイムラグがあった場合

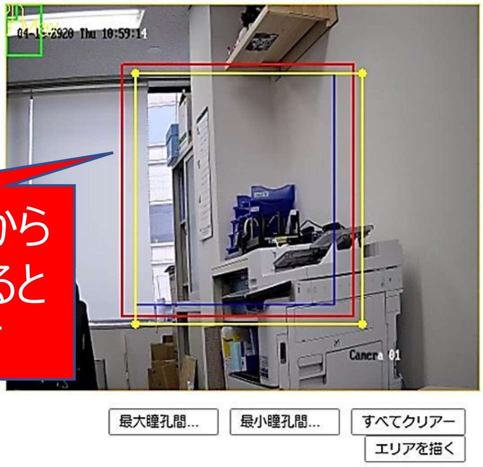
＜対処法＞

●PCの再起動を行う。

⑤下記画面が出た場合

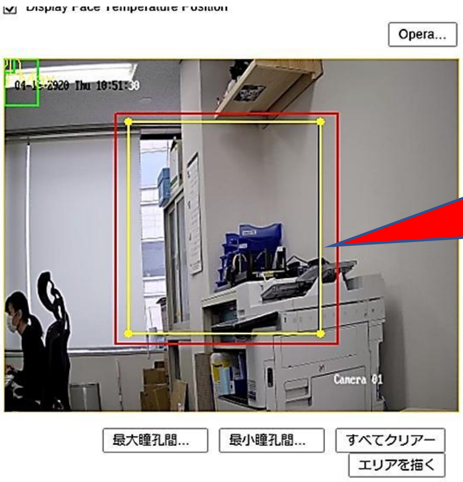


＜原因＞



黄色枠が赤枠から
はみ出していると
現状が現れます

＜対策＞



黄色枠を赤枠の内側に
収めてください。
※エリアを描くのボタンで
　手動調整いただけます

8．故障かな？と感じたらご確認ください（3）

⑥アラームの現象

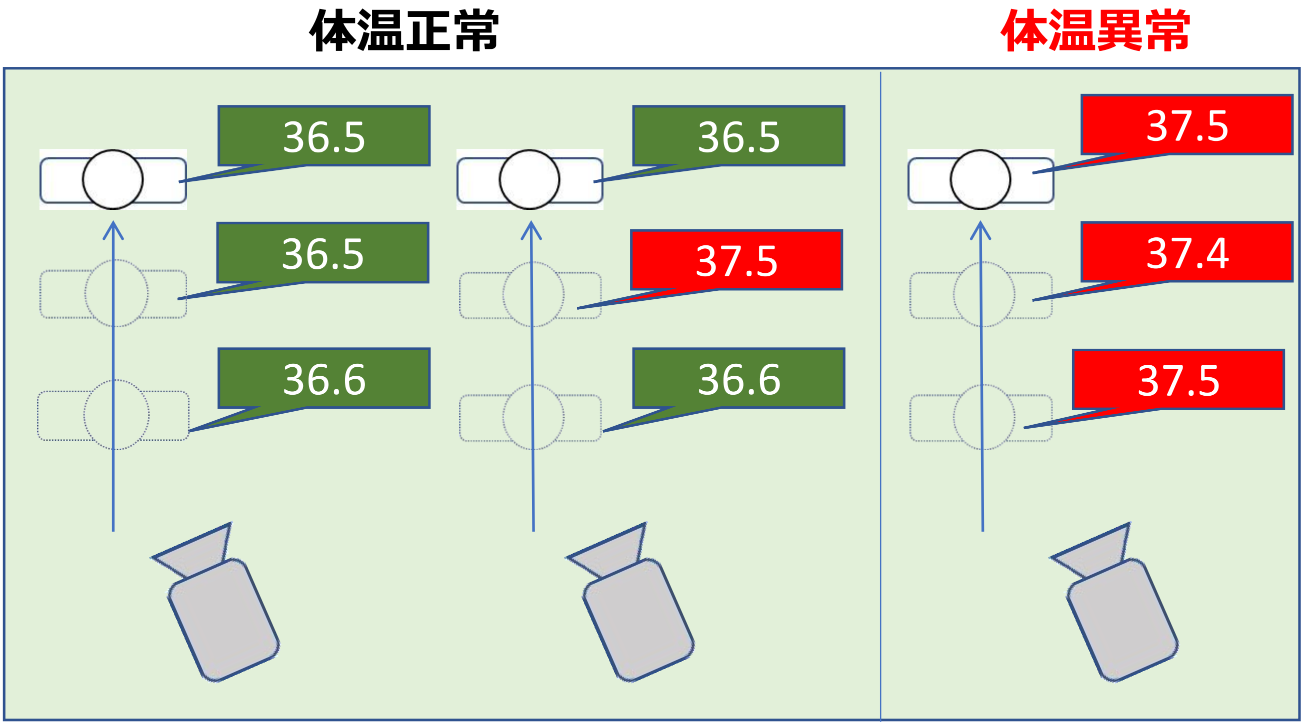
製品の仕様上、体温判定には一部誤差が生じる場合がございます。
以下の現象が現れた時は、現場で体温計測をお願いいたします。

■体温正常な人

・カメラ（測定エリア）に最初に写ったときは、
体温問題無しだったが、一瞬37.5℃以上になった。
・測定中、一瞬37.5℃を超えたが、また正常に戻った。
→ 製品の一時的な挙動変化の可能性があります。
この場合は正常という判定をします。

■発熱している人

・カメラ（測定エリア）に写っている間ずっと、
検知異常が継続している場合



8． 故障かな？と感じたらご確認ください（4）

⑦映像の青枠が消えてしまった、温度が表示されない、映像が映らなくなった場合

＜対処法＞

●環境設定の画面から再起動を選択。

●ivms-4200から環境設定画面にて再起動を選択。

●5.3の設定確認

⑧マスク検知アラートの設定・解除をしたい

＜対処法＞

●環境設定の画面から「顔キャプチャ」を選択。

●マスク着用リンケージの「警告音」に✓をはずす。

9．更新情報のアップデート方法（1）

当社ホームページ上に配信するファームウェア をアップロードしていただくことで、各種最新機能をご使用いただけます。

■ファームウェアのダウンロード手順

①アイリスオーヤマ IoTソリューション事業H.P.へアクセスしてください。
URL https://www.irisohyama.co.jp/b2b/iot/

②ソフトダウンロードページを開いてください。

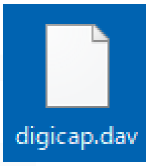
①

②

③上記のファームウェアを
ダウンロードしてください。

④環境設定 → システム設定 → メンテナンス を開いてください。

⑤ ③でダウンロードした digicap.dav の



保存先を選択してください。

⑥

注釈: アップグレード作業は終了するのに1~10分かかります。電源を切らないでください。装置は、作業後自動的にリブートします。

9．更新情報のアップデート方法（2）

当社ホームページ上に配信するファームウェア をアップロードしていただくことで、各種最新機能をご使用いただけます。

■音声アラームの変更方法

①環境設定 → イベント → 音声アラーム出力　を開いてください。

アイリスオーヤマ株式会社

■ 新規購入・導入をご検討のお客様へ

当社営業もしくは下記窓口までご相談ください。

IoTソリューション事業部　TEL **03-5843-7747**

〈受付時間〉平日9：00～17：00

■ 製品の設置・施工・アフターサービスについてのお問い合わせ

サポートコール　**0800-111-5300**（通話料無料）

〈受付時間〉平日9：00～17：00、土・日・祝日9：00～12：00／13：00～17：00
（年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）